

# 報みょうとく

題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺  
(安芸教区志和組)  
発行責任 寺報編集委員会  
東広島市八本松町飯田六〇二  
電話〇八二四二八〇一四四



## 得度披露記念 事業計画のお知らせ

新たに仏道を歩もうとする者のことを「新発意」と言います。昔から浄土真宗では特に将来住職になろうとする者のことを「しんぼちさん」「しんぼつあん」



(上)左建物が雨漏りなどで悩まされている庫裏です。屋根を修理したとしても今後の使用方法に課題があり、事業実行委員会で建て替えを検討しています。

(下)6年前の夏、得度直後の新発意の写真です。



新発意と呼ばれた者は育てられやがて住職となり、また新たに次世代の新発意を育ててきたのです。

この度、新発意が大学を卒業し一般企業に就職して社会経験を積むこととなったのですが、将来の住職としての気持ちを新たにしたい機会を予定しています。また現在妙徳寺の懸案事項である門信徒会館整備、本堂等修繕なども検討しており、次世代寺院活動の財産となるような事業を同時に進めて参りたいと思います。

とした門信徒など有縁の皆さまの働きかけがあればこそだと思われまます。「手を合わせながら歩む生き方を伝えなければならぬ、ほかに誰でもない、あなたにこの重責を果たしてほしい」とそう思った思いを感じながら、

今年の報恩講には新発意が帰郷してお参りし挨拶する予定としております。同時に今事業の趣意書と懇志依頼書をお渡ししたいと考えています。報恩講にお参りいただけたら幸いです。後日郵送にてご依頼申し上げます。

詳細はこれからお渡しいたします趣意書をご覧くださいますが、この事業計画について篤いご理解と協力を賜りたく、ぜひ報恩講にお参りいただきたいと思

### 「聞法・聴聞」 いたしましよ

「聞法」とは仏法を聞くという意味で、浄土真宗では「聴聞」ともいいます。「聴」も「聞」も同じ「き」という文字ですが、じっくりと詳しく聞くのが「聴」、きこえてくる音をそれとなくきいているのが「聞」、つまりいろいろな聞き方で仏法に出あつていくのだという事です。



す。一方でこの地面の下の見えな

「生」の字の成り立ちは地面に生える植物の象形文字で、前を向いて伸び行く姿、目に見える部分の能動的な姿でありま

とを忘れてはなりません。見えていない根があるからこそ、見える部分は伸び行くことができず。聴聞とはこの根を育てる努力です。仏さまや他者の気持ちを受け止める根が育てば、能動的に考え自律的に行動す



### ライン登録のお願い

寺報では対応できない、急な予定変更をすぐにお知らせするためにライン登録をお願いしています。普段は行事前に一斉配信しています。なお、お寺にお参り



このQRコードを読み込むか、@985fghgyを検索してください

### 行事予定

感染症感染リスク軽減を目的に法座回数を当面減らし、講師控室の雨漏りなどの不都合により当山住職が講師の場合が多くなっています。ご了承ください。

十一月二十五日(月)午前九時、午後一時

報恩講(おとしこ・ほうおんこ)

講師 当山住職自動  
十一月二十四日(日)午後一時より 報恩講前日準備  
お手伝いよろしくお願ひします

報恩講朝席後・昼席後  
新発意得度披露記念

・門信徒会館整備事業計画説明会  
新発意あいさつ、趣意書と事業説明を予定しています

十二月二十五日(水)午後一時から一時間  
年末お掃除

大晦日 午後十一時半から  
除夜会(じよやそ)

元旦 午前十時より一時間半  
修正会(しゅうしよつえ)

一月九日(木)午前九時、午後一時

御正忌法要(おたんや)

講師 当山住職自動

である(うしろ)が(うしろ)がで  
きるようになるのでしよう。  
聴聞を心がけさせていた  
だきましよう。

一語法話

親鸞さまは正信心仏偈の中で、釈尊が阿弥陀さまのことをお話しくださった尊さをお讃えくださったうえで、その仰せにしたがうことと利益を三つ挙げられます。その第二がこの六行、煩惱があっても問題にならない利益があることをお示しください。



撰取の心光つねに照護したもうすに能く無明の闇を破すと雖

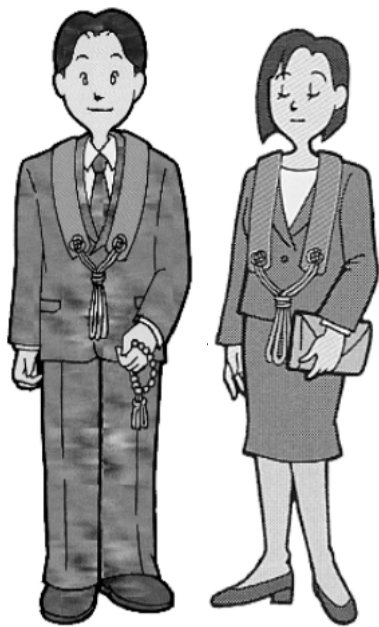
撰取心光常照護 已能雖破無明闇 貪愛瞋憎之雲霧 常覆真信心天 譬如日光覆雲霧 雲霧之下明無闇 「正信心仏偈」

常には真信心の天に覆えり 譬へは日光、雲霧に覆われども 雲霧の下、明らかにして闇無きが如し 阿弥陀仏の光明は、いつも苦しめ悩む人々を撰め取つ

仏事作法⑥ 寺参りについて

今回は寺参りの作法を書いてみようと思います。

前回書いたとおり、浄土真宗のお寺は仏さまのお話を聞きに来る「聴聞の場」です。ご本尊、阿弥陀さまを中心にご安置し、す



(上)式章を着用したイラストです。お寺の行事ではもっと楽な服装でお越しください。(下)式章は僧侶の着用する「輪袈裟」とは異なり、昭和初めまでは「肩衣」と呼ばれたものです。「袴」とあわせて「袴」といい、礼儀をたす装いのためのものです。 ※僧侶の「輪袈裟」は正式な袈裟を畳んで輪状にしたもので、本来は「略式畳輪袈裟」といいます。



くそばに親鸞さまの御影(お姿の掛け軸)を、さらに親鸞さまの教えをお手紙「文章」などでお伝えくださった蓮如さまの御影をお掛けし、親鸞さま、蓮如さまと一緒に多くの人が阿弥陀さまに手を合わせ、仏さまのお話を聞かせていただく、そのような「聴聞の場」であります。

お寺では法座と法座以外の行事があります。でも必ずお寺の行事はすべて、読経して合掌礼拝することから始まります。まずは礼拝、仏さまへのお敬いからです。法座の流れは次の通りです。

- ① 喚鐘(行事の始まりを告げる鐘です)
② 読経(一緒に声を出してお参りしましょう)
③ お説教(前席、後席それぞれ約三十分、途中で休憩を挟みます)
④ 御文章拝読(蓮如さまのお手紙でお説教をまとめたいただきます)
⑤ 領解(一緒に唱和いたします)

「若しこの書を見聞せん者は、信順を因と為し、疑謗を縁と為し、信業を願力に彰し、妙果を安養に願さん」

と書かれています。信順が因であるのは当然のことと思われませんが、「疑謗」が「縁」になるといつどこに深い意味合いが感じられます。

無明の闇は晴れていても、貪りや怒りの雲や霧はいつも私の信心を覆っている。たとえば日光が雲や霧にさえぎられても、その下は明るくて闇がないのと同じであるように、何度も私たちの心が煩惱に飲み込まれようとも、阿弥陀様の光(救済)の届かない所はない。

自分自身のことを考えてみると、決して信順ばかりであったわけではありませぬ。仏法を聞く中で、しょせん昔の人の考えだと誇り、そんなことがあり得るだろうかと疑いもしました。仏教を学ぶながらも無明の闇に覆われてばかりです。しかし疑いとは、仏さまの教えを我が身の上で聞いていこうとするから起こるのであって、そもそも聞いてい

なかつたり、聞き逃したり、聞いていても人ごとにしてる限りは誇ること、疑うこと、ありませぬ。疑い誇るといふことは信順と裏表で、それだけ仏法に触れているということ、仏さまにすでに出あっているといふことです。仏さまに出あっているのだから何事も心配することはない、どんなに疑い誇る心があろうともそれごとまとめて抱きかかえてくださるのである。



合同墓・墓地案内 有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地です。ご相談ください。

妙徳寺ホームページ http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/



りいただいております。講師へのお礼など法座には経費がかかります。皆さんにも負担いただいています。お布施です。金額については決まりはありません。詳しくは帳場の役員さんにお尋ねいただければと思います。お説教の休憩中にお賽銭と冥加銭をお願いすることがあります。お賽銭は内陣荘厳(お花やお香など)に使わせていただきます。冥加銭は本山や別院にお納めするもので、現在は護持会計から進納しているため法座でお願いしていません。

法座にご持参いただく物は念珠、経本、門徒式章、お供えとお賽銭です。服装については特に決まりはありません。正座することなく皆さん椅子でのお参りいたしますので、楽な服装で気楽にお参りください。 その他分からないことがあれば誰かに聞いてみてください。みなさん初めてお参りの時がありましたから、決して恥ずかしいことではありません。聴聞の友をうれしく迎えてくださると思います。(次号へ続く)

志和組テレホン法話「みのりの電話」 082-433-4989 10月1日~長松寺 中田輝道 10月11日~西方寺 安國智乗 10月21日~寿福寺 田中真 11月1日~浄蓮寺 沼田成子 11月11日~西方寺 安國真雄 11月21日~天龍寺 天野英昭 12月1日~照栄寺 井口英隆 12月11日~寿福寺 田中幸恵 12月21日~浄蓮寺 沼田典生

「写経の会」 10月25日(金) 11月15日(金) 12月6日(金) それぞれ午後2時より 申し込みは代表\_西本さん(428-2466)、または妙徳寺へ 「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」 10月12日(土) 11月9日(土) 12月7日(土) それぞれ午後2時より 申し込みは代表\_廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へ 「妙徳寺仏教壮年会例会」(原則毎月第2土曜日) 10月12日(土) 午後6時より 定例会 11月9日(土) 午後6時より 定例会 12月14日(土) 午後6時より 寺報編集会議

「書道教室」 ホームページ内の「行事カレンダー」に稽古日を掲載しています。妙徳寺LINEでも随時お知らせいたします。(毎月3回程度の金曜日 午後2時半~午後5時の間) ※金谷雷聲先生(奮門会)による幼児・児童・大人対象、硬筆・毛筆教室です。 申込は金谷先生FAX0823-82-9565 または妙徳寺へご連絡ください。 「おみのりサロン」開催予定日 10月28日(月) 11月14日(木) 12月19日(木) 午後2時より1時間半(住職が本堂に待機、相談をお受けします)